

スポーツ大会が 開催されました

9月18日、とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会都賀支部主催の第49回スポーツ大会が都賀体育センターにて開催されました。当日は栃木市社会福祉協議会都賀支所、民生委員高齢福祉部、女性会、保健師、ボランティア等の協力により、90代8名を含む95名の参加者が集まりました。競技が始まると歓声が上がリ、ゴールをすると大きな拍手で称えます。最後は全員で日光和楽踊りを楽しみ、充実した一日となりました。



蔵の街サマーフェスタ 2026

例年8月に開催しているサマーフェスタ。今年は猛暑の影響から9月12日の開催となりました。蔵の街大通りや巴波川などを会場に多くのイベントが賑やかに繰り広げられ、ステージではダンスや太鼓などのパフォーマンスが披露されました。サバイバルゲームやスケボーなど様々な催しやグルメの出店もあり、訪れた皆さまの笑顔があふれる一日になりました。



▼自衛隊ブースでは装甲車から家族でピース



▲大通りのとち介ふわふわハウス

親子わいわい塾 〜昭和にタイムスリップ〜

おひら歴史民俗資料館において、田村律之助顕彰会による『親子わいわい塾』が開催されました。懐かしの街頭紙芝居パフォーマンスから始まり、けん玉道場、竹とんぼ飛ばし、めだかすくい等の体験活動が行われました。昭和30年代のジオラマづくりを見ることが出来たり、太平南地区内おやじの会による射的、龍吐水体験（昔の消防体験）もあったり、子ども達は楽しい時間を過ごしていました。資料館の担当者による館内の案内もあり、説明に熱心に耳を傾け、地域の魅力を身近に感じながら、文化への理解と地域への愛着を育む良い機会となりました。



▲大人気の龍吐水体験

▲街頭紙芝居

防災対策講座を開催

8月25日、北部健康福祉センター「ゆったり〜な」にて、防災対策についての出前講座が開催されました。西方地域自治会連合会が、自治会長や地域住民を対象に、市の出前講座を活用して企画したもので、参加した皆さんは市危機管理課職員の講話や映像などを交えた説明を熱心に聴き入っていました。また、自動車整備関係の仕事をしていた参加者から、冠水した道路で車が立ち往生した際のレスキューハンマーの使い方や脱出方法などの説明もあり、防災についての知識を学ぶとともに、その対策についての理解を深めていました。



▼びしょぬれタイム



▶縁日コーナー（射的）

8月30日、岩舟八公民館にて、こどもフェスティバルが開催されました。オープニングの「新里お囃子保存会」の演奏から始まり、人形劇や縁日、ワークショップなどの体験コーナーが設けられ、たくさんの子どもたちが賑わいました。最後のびしょぬれタイムでは、水をつぼうで水を掛け合い、びしょびしょになりました。大いに盛り上がりしました。

消火訓練と消防車等見学会

9月11日、地域子育て支援センターふじおかにて消火訓練と消防車等見学会が開催されました。当日はあいにくの雨の中、8組の親子が参加しました。参加者は水消火器を使った消火訓練に挑戦した後、消防職員の説明を聞きながら、車両を見学し、実際に乗車したり装備に触れたりしました。装備一式を背負った保護者からは「子どもより重い」という驚きの声上がり、消防士の大変さを肌で実感する機会となりました。



フラワー樹木葬「大平ぶどうの森 樹木葬墓地」64限定区画

ご希望の方はパンフレットを郵送いたします。

所在地 栃木市大平町西山田3427 ☎ 0120-008-952 セレモニー千代田 樹木葬事業部

Editor's Note 編集後記

とちぎ秋まつりでは、毎回、山車の撮影に挑んでいますが、実はこれが一番の難題です。山車を曳く人々の熱気と、山車の人形の姿。この二つの距離が離れているため、引きで撮ると迫力が分散してしまいがちでした。「今年こそは、その場の熱量まで切り取る最高の一枚を」（塚）

最近娘がよく笑うようになってきました。あやすと最高の笑顔を見せてくれるので、「今だ!」とカメラを向けるも、途端に真顔に…。「実物はもっとかわいいのに〜」と歯がゆい思いを抱えながら、シャッターボタンを連打する毎日です。これって育児あるあるでしょうか?（関）

市の最新情報はWebで!



次号 広報とちぎ 12月号は 11月20日(金) 発行 各自治会への配布のほか、市内の公共施設、コンビニエンスストアなどの協力店舗に設置しています。市ホームページや広報紙配信サービスもご利用いただけます。

目の不自由な方のために、点字版広報とちぎの発行や市内の朗読ボランティアが広報とちぎの音声テープを作成しています。ご入用の方はお気軽に広報課までお問い合わせください。☎:0282(21)2316